

“自分を生きる” 4歳児（年中組）



友だちとの関わりの中では、楽しいことだけではなく、いざこざや葛藤体験もたくさんあります。子どもにとっては、全てが学びです。友だちとぶつかったりつながったりしながら、自己主張の仕方や友だちの受け入れ方、自己コントロール（自律）の術などを身につけていきます。いろいろな思いを感じ、心の襞を育む時期です。

友だちのよさを感じながら、みんなで力を合わせる心地良さや楽しさも少しずつ経験していけるよう、保育していきたいと思っています。

♪ 4歳児の遊びの様子 ♪



“アイアンマン” になりきるためのアイテム作り♪  
一人だとなかなかできないことも友だちが手伝ってくれたり、一緒に作ったりするとステキなモノができるし、楽しくなることを子どもたちは遊びの中から自然と学んでいきます。

“三つ編み” ♪

一人の興味が友だちに広がってあっという間に三つ編みブームに！！  
友だちに「すごいね！」と言われて自信がもて、ますます楽しくなる！



愛育幼稚園の子どもたちは“何かになって遊ぶ”ことが大好き♪

運転手さん、お母さん、お医者さんやお店屋さん。

“面白そう” “楽しそう” と感じたモノやコトを遊びに取り入れたり、“こんな風になりたい・なりたい” 気持ちを表現したりする楽しさを感じています。



♪多様な遊び方・多様な経験で豊かになる子どもの世界♪



コマ回しを楽しんでいた子どもたち。  
普通に回したり、逆さまにして回したり。  
そのうちにコマの影に気が付いて大騒ぎ！！  
コマ回しひとつでもいろいろな発見があり、それを  
友だちと共有できるようになるのが4歳児。

春に植えたキャベツやブロッコリーにモンシロチョウがたくさんタマゴを産み付けてくれます。それを大事に育てて（キャベツを家から持ってきたり、糞の掃除をしたり）アオムシがサナギに！！チョウチョになるのを楽しみに子どもたちは待っています♪



♪みんなと一緒に♪イメージの共有♪



桃太郎から“鬼退治に力を貸してほしい”と手紙が来て、みんなでからだを動かす楽しさを感じながら、修行し、運動会を迎えました♪少しずつ“力を合わせる”“みんなと一緒に”といった楽しさを知っていきます。



フィンガーペインティング

子どもたちの育ちは、目には見えにくい“心の育ち”がほとんどです。特に年中児（4歳児）はいろいろなことが見え、分かり、感じるようになるが故に、葛藤したり、揺れたりする時期でもあります。「本当はこうしたいんだけど、素直になれない」「分かってはいるのだけど、できない」など、周りの思いや先のことが分かってくるからこそ、悩んだり、躊躇したりします。

だからこそ、多様な価値観や経験を通して、より豊かな内面を育てていける大切な時期なのです。

一見、マイナスや後戻りに見える姿も、“その子の今”をまるごと受け止めながら、信じて見守っていくことを大切にしています。大人が温かいまなざしを降り注ぐと、子どもたちは“徐々に”“次第に”“いつの間にか”成長した姿を見せてくれます。